

第2学年 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：知って呉 京都編

「魅力ある呉市にするにはどうすればよいか」

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】【協働・協調する力】

指導者	1組	呉市立広中央中学校	T1	浮田 秀樹	T2	後藤 幹
	2組	呉市立広中央中学校		牛尾 彰宏		
	3組	呉市立広中央中学校	T1	三浦 圭太朗	T2	森本 一郎
	4組	呉市立広中央中学校		苗洪 祐子		

日時 令和元年10月21日（月）（11時10分～12時00分）

場所 呉市立広中央中学校 第2学年各教室

学年 第2学年（男子 70名 女子 77名 計147名）

単元について

本単元は、課題発見・解決学習と学校行事である修学旅行とを活用しながら、総合的な学習の時間の目標である「探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく」ことを目指し、単元を通して「将来にわたり呉市が発展し、自分たちが住み続けることができるにはどうすればよいか」を考えさせるものである。その中で、日本の有名な観光名所である京都府を調べ、呉市と比較しながら「京都に人が集まるのはなぜか。呉市と何が違うのか。」を課題として、探究的な学習の過程を仕組む。

本学年の生徒は、1年次に「知って呉」というテーマで、自身の住んでいる呉市を「A自然・地形・人口」「Bグルメ」「C観光」「D歴史・日本遺産」「E産業」「F偉人・人々のつながり」の6つのグループに分かれて情報収集を行い、将来にわたり呉市が発展し、自分たちが住み続けることができるにはどうすればよいかを考える取り組みを行った。また取組の内容を、パンフレットやポスターに起こし、広島県の代表的な観光地である宮島において、国内外の観光客に向けて呉市をアピールするインタビュー活動を行った。

そこで本単元では、まず、あらゆる手段で簡単に情報を手に入れることができる社会に置かれている生徒たちが、あふれる情報に翻弄され本当に自分たちに必要な情報が何かという選択をすることが難しくなっていることをふまえ、自分に必要な情報は何かを判断し取舍選択できるように、各クラス、班ごとにテーマを決めて京都についての情報の収集を行う。

昨年度実施した「知って呉」はそのような情報社会の中でも、インタビュー活動を通して他者の意見を生の声で聞くことで、自分たちが抱える課題に対する生きた答えを求めることができ、自分事として考えることで主体性・積極性を身に付けることができた。さらに、今年度実施した職場体験学習を通して、実際に地域の人々の中で得た知識・技能は呉市や広中学校区を魅力ある地域にするために、既存の産業や、祭りなどの行事を発展させるための新たな視点をもつことができたり、新規の事業を開拓したりするきっかけになり得たと考える。

そこで、昨年度の学習は「宮島にきている観光客に、呉市にも遊びに来てもらおう」という、アピール中心のインタビュー活動中心だったものを、今年度の学習では、京都を「お手本」にして呉市なら何ができるかを探る活動を中心とした学習内容にした。そこで、インタビュー内容もただ単に「なぜ京都を訪れたのか、京都の何を見たいか、何を食べるか、土産はなににするか」のような単純な問いではなく、「京都の何に魅力を感じたからこの地を訪れたのか、この歴史的建造物にどんな魅力を感じたからここを訪れたのか、どこに魅力を感じたから京料理や京の和菓子を食いたいのか、どこに魅力があったのでその土産を選んだのか」などを観光客に尋ねさせる等のマーケティング活動を実施したい。

また、修学旅行で実際に京都の魅力に触れてみて自分たちの考えがどのように変わったのかを振り返り、「魅力ある呉市にするにはどうすればよいか」について、「広まちづくりセンター」や「ふれあい夢議会」などの情報発信の場で提言書として発表できるように仕組むことも視野に入れた単元構想をしている。

【1年生で行った総合的な学習の時間（知って呉）についての単元図】



1年生で行った学習では、呉市や広地区の過疎化や高齢化に関する現状についてガイダンスを行い、「将来にわたり呉市が発展し、自分たちが住み続けることができるにはどうすればよいか」を課題として設定させた。また、呉市役所観光振興課の方の講演で「広地区には観光名所はない」ということを知り、課題を解決するための意欲が増した。そして宮島では、呉の魅力を他国や他県の観光客に伝えることができた。「今から呉に行ってみる」と言われたり、後日お礼の手紙を送ってくれたりする観光客がいたことで、多くの生徒たちは達成感を感じることができた。

これらのことを踏まえて本単元ではさらに他教科との関連を図るためのとして第2学年のカリキュラム・マネジメントも行った。総合的な学習の時間だけでなく、他教科においても本単元との関連性の見直しを行い、次項の「令和元年度 資質・能力に係る年間指導計画 呉市立広中央中学校（第2学年）」にまとめた。これにより、生徒が各教科及び各領域で学んだ知識及び技能をもとに、統合的に学習活動が行えるようになることが期待される。

生徒の実態について

1年時の「知って呉」活動後の振り返りで行ったアンケートの結果、「呉市について知ることができた。」と答えた生徒は約90%と取組前よりも上がったが、「将来も呉市に住みたいと思う。」「呉市をもっとアピールしたいと思う。」と答えた生徒は約60%にとどまった。これは昨年の取組の最中に西日本豪雨災害に見まわれ、呉市広地区でも甚大な被害を受けたことを受け、「災害を受けたところに観光客を呼べるのか」「再び災害にあったときにここに住み続けることができるのだろうか」といった不安も少なからず影響があった。

しかし反対に、復興に向けて自分たちにできることをしようという気持ちでこのテーマに取り組んだ生徒もあり、宮島でのポスターセッションやインタビュー活動では国の内外を問わず観光客に積極的に話しかける姿を見ることができた。

一方で昨年度実施した基礎・基本定着状況調査の生活アンケートにおいて、「授業では、解決しようとする課題について、『たぶんこうではないか』『こうすればできるのではないかと予想しています。』」と答えた生徒は92.2%だったのが本年度の生徒集団は79.9%にとどまった。また「授業では、自分の考えを積極的に伝えています。」では67.5%から58.2%、「学習の振り返りをするときには『どこまで分かったか』『学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由』を考えています。」では89.6%から69.4%といずれも昨年度の生徒集団よりも大きく下降しており、本学年の生徒集団は、情報を分析する力やまとめた情報を発信する力に課題があることが分かった。

指導改善のポイント

上記のような生徒の実態をうけ、また今年度2月には修学旅行を実施することもふまえて、呉市の比較対象の都市として京都を取り上げ、「世界の観光都市である京都に学ぶという」立場で改めて呉市の課題を見つけることができるように次のような指導の改善を行う。

【単元を通しての指導の工夫】

① 導入の工夫

1年次の「知って呉」の取組を基礎にして、自分たちが「調べたい」「興味がある」ことを挙げる。

② 学び合い

事前 各クラスでテーマを決め（1組：自然・四季・地理 2組：歴史・建物 3組：食文化・土産 4組：文化・芸術・伝統産業），そのテーマについてより詳しく班で調べる。（例）3組は京都の食文化や土産に関すること6班，各班ポスター2人，レジュメ2人，発表2人で構成。

当日 各班がより深く調べたことを発表する。

事後 6班分のレジュメを集めて各クラスに配る。修学旅行では自分の班が調べたことに関する場所をルートに入れ，実際に行ってみてどうだったかを考えさせる。（例）調べてみて疑問に思ったことをその場でインタビューしてみよう。

③ 他教科との横断的取組

修学旅行でのインタビュー活動に備えて，各教科において必要事項を学習する。

④ まとめと振り返り

【まとめ】 京都編は班でポスターを制作し，学年でポスターセッションを行う。

修学旅行後，実際に見聞した京都と呉市を比較し，将来の呉市についての提言書を作成する。

【振り返り】 取組を通して，「課題設定の能力」「情報収集の能力」「情報を分析する能力」がどのくらい身に付いたかアンケートを行う。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

- 呉市と観光地を比べて，呉市の良い所を知り，誇りに思うことができる。
- 世界的な観光地である京都と呉市を比較し，友達や地域の人，インバウンドの人たちとコミュニケーションをとりながら調べることができる。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	主体性・積極性	協働・ 協調する力
<ul style="list-style-type: none"> ・「知って呉～宮島編～」で調べたことを元に，観光都市京都と比較することで呉市の将来像を考え自分達の生活の中で生かすことができる。 ・課題の解決に向けて，呉市や京都市についての情報を収集し，事実や関係を把握し分析・分類する方法を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市と京都市を比較して得た様々な情報を系統的に表やグラフにまとめることができ，それらを活用して呉市に対する自分の考えを相手に分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市の課題や解決策を自分事として，京都市と比較しながら探することができる。 ・自分が住んでいる呉市について意欲的に調べたり，インタビューなどに挑戦したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを分かりやすく相手に伝えたり，他者の意見に傾聴し，理解し，受け入れたりすることができる。

指導と評価の計画

(全22時間) 本時は13/22

「単元を貫く課題」

魅力ある呉市にするにはどうすればよいか。

次 (時)	学習内容 【他教科等との関連】	評価規準 (評価方法)	校区で設定する 【資質・能力】
1 (1)	1年次の「知って呉宮島編」から再度呉市が抱える課題や魅力を交流する。 【社会科・英語科】	・呉市について積極的に自分の考えを伝えようとしている。(行動観察)	【主体性・積極性】
		・友達と自分の意見や経験を通して呉市の現状を把握している。 (ワークシート)	【主体性・積極性】
2 (1)	課題の設定 宮島編での課題をみつめなおし、テーマを設定する。 【国語科・社会科・英語科】	・班で話し合いながら情報を整理しようとしている。(ワークシート)	【知識・技能】
3 (2)	情報収集 観光都市としての京都について調べる。 【国語科・社会科・理科・家庭科・英語科】	・収集した情報を、分類したり関連付けたりしながら、整理している。(ワークシート)	【知識・技能】
4 (6)	整理・分析 集めた情報を班ごとにポスター、レジュメ、発表原稿にまとめる。【国語科・社会科・数学科・理科・技術家庭科】	・班で話し合いながら情報を整理しようとしている。(ワークシート)	【知識・技能】
5 (1)	まとめ・創造 ポスターを基に京都の特徴を原稿にまとめ班で練習し、発表の準備を行う。 【国語科】	・班で協働し、練習を通してよりよい発表をしようとしている。(行動観察)	【思考力・判断力・表現力】
6 (2)	表現 京都の魅力について発表する。 【国語科】	・話し方を工夫し、聞き手に分かりやすく伝えている。(発表)	【主体性・積極性】 【知識・技能】
	振り返り 京都の魅力について共有し、これまでの活動を振り返るとともに、京都で実際に調べる内容を深めることができる。 (本時) 【国語科・社会科】	・収集した情報を、分類したり関連付けたりしながら整理し、学習内容を深めている。(ワークシート)	【思考力・判断力・表現力】

各教科において「京都の魅力に触れる」ために知識・技能を身に付けさせる授業を展開する。

7 (6)	実行・情報収集 京都の魅力に触れる。 【社会科・英語科】	・インタビュー活動でのアンケート調査を通して積極的に他者の意見を取り入れようとしている。(ワークシート)	【協働・協調する力】
		・メモを取ったりしながら情報を得ようとしている。(行動観察)	【思考力・判断力・表現力】
		・既習の能力を活用しようとしている。(行動観察)	【思考力・判断力・表現力】
8 (1)	新たな課題の設定 呉と京都を比較して各分野での課題を挙げ交流、分析する。	・実際に京都の魅力に触れてみて、考えがどのように変わったのか、自ら振り返ることができる。(ワークシート)	【知識・技能】
9 (1)	整理・分析 まとめ・創造 課題を解決するための手立てを考え、解決策をまとめる。【国語科・社会科】	・これまでの活動を振り返りながら、設定した課題を解決しようとしている。(ワークシート)	【協働・協調する力】 【思考力・判断力・表現力】
10 (1)	表現・振り返り・実行 知って呉京都編で考えたこと、学んだことを地域に還元するために提言書にまとめる。 【国語科・英語科】	・これまでに学んだことを含めて、提言書にまとめることができている。(提言書)	【協働・協調する力】 【思考力・判断力・表現力】

本時の学習（1組）

（1）本時の目標

- 呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「自然・四季・地理」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深める。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆は「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て）	評価規準 （評価方法）
1 本時のめあての確認（5分）		
<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りを行う。 ○本時の課題を認識する。 	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">導入の工夫</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 前時に行った各班の発表を踏まえて、どのようにすれば呉市の課題を解決に導けるかを考えさせる。 </div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> めあて 京都からどんなところを学ばよいかを「自然・四季・地理」の観点から考えるには、どのような調査をするとよいか。 </div>		
2 課題の解決（35分）		
<ul style="list-style-type: none"> ○前回の各班の発表に対する質問や意見を交流する。 ○呉と京都の違いを考えさせる。 個人思考 ○各班で意見交換する。 集団思考 ○各班の発表を参考にしながら京都に人が多く訪れる理由を考える。 ○実際に京都で調べてみたいことやインタビューしてみたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「呉には京都のような〇〇がない。」のような思考にならないように、京都を手本とすることを説明する。 ◇「自然・四季・地理など」のカテゴリーで、呉市なら何ができるだろうという視点で考えさせる。 ◇班ごとに質問・意見の時間をとって回答させる。 <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">学び合い</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 呉市の良いところと京都に学ぶべきことを整理・分析することができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 【予想される生徒の気づき・反応】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都は盆地だが、呉には京都にはない海や島などの地形がある。 ・ 広地区では大きな川があることや平地であることなどの共通することもあるが、広地区には観光名所がない。 ・ 渡月橋と同じような真光寺橋があったが、豪雨災害により無くなってしまった。 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 生徒の気づき </div>

<p>○自らの考えを発表する。</p> <p>○本時のまとめをする。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都ではどこを観光しましたか。京都は何回目、目的は何ですか。 ・自分の街と比べて京都の魅力は何だと思われませんか。 ・自分の街の魅力は何ですか。 </div> <p>◇京都でインバウンドの人たちに何をたずね、どんな答えが返ってくるかを予想させる。また、その答えが呉市の発展にどうつながるかを考えさせる。</p> <p>◇修学旅行の班別自主研修時に実際に調べてみたいことや、インタビューしてみたい疑問などを記入させる。</p>	<p>○呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「自然・四季・地理」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。 (ワークシート)</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p>
まとめと振り返り		
<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市の自慢できるものがあるが、京都では地域の自慢できるものをどのようにアピールしているのかを調べたい。 ・京都で実際に観光客に話を聞いて、自分たちの予想があっているか確かめたい。 ・交通網・標識などを整備し、呉市を便利に安全な街にするために、まずは京都でどのような工夫がなされているか学びたい。 </div>		
3 振り返り (10分)		
<p>○本時の授業を振り返る。</p>	<p>◇本時の授業を振り返り、分かったこと・考えたことを記入させる。</p> <p>◆本時の発表で分かったことを記入させる。</p>	

(3) 本時の資質・能力ルーブリック

【思考力・判断力・表現力】	A	<p>呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「自然・四季・地理」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深め、本時の振り返りでさらなる提案を書くことができる。</p>
	B	<p>呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「自然・四季・地理」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。</p>
	C	<p>京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを「自然・四季・地理」の観点から考えようとしたが、京都で実際に調べる内容については深めることができない。</p>

本時の学習（2組）

（1）本時の目標

- 呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「歴史・建物」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深める。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆は「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て）	評価規準 （評価方法）
1. 本時のめあての確認（5分）		
<p>○前時の振り返りを行う。</p> <p>○本時の課題を確認する。</p>	<p style="text-align: center;">導入の工夫</p> <p>前時に行った各班の発表を踏まえて、どのようにすれば呉市の課題を解決に導けるかを考えさせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>めあて</p> <p>呉市の歴史や歴史的建造物を生かして観光客を増やすためには、京都でどのような調査をすればよいかを考える。</p> </div>		
2. 課題の解決（35分）		
<p>○前回の各班の発表に対する質問や意見を交流する。</p> <p>○呉と京都の違いを考えさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個人思考</p> <p>○各班で意見交換する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集団思考</p> <p>○各班の発表を参考にしながら京都に人が多く訪れる理由を考える。</p> <p>○実際に京都で調べてみたいことやインタビューしてみたいことを考える。</p>	<p>◇「呉には京都のような○○がない。」のような思考にならないように、京都を手本とすることを説明する。</p> <p>◇「歴史・歴史的建造物など」のカテゴリーで、呉市なら何ができるだろうという視点で考えさせる。</p> <p>◇班ごとに質問・意見の時間をとって回答させる。</p> <p style="text-align: center;">学び合い</p> <p>呉市の良いところと京都に学ぶべきことを整理・分析することができる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p>【予想される生徒の気づき・反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市にも「呉市入船山記念館」があるが、京都には歴史的建造物がたくさんあり多くの観光客が訪れている。 ・歴史的建造物の周りに観光客を呼び込むような工夫がされているのではないか。 ・京都には長い歴史があり、歴史を生かした観光業が盛んである。呉市には海軍以外有名な歴史がない。 </div>		

生徒の気づき

○自らの考えを発表する。	<p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ（金閣寺）を訪れたのですか。 ・（金閣寺）の魅力は何だと思えますか。 ・（金閣寺）までの交通手段は何ですか。 ・他に日本のどこを観光しますか。 ・なぜ京都を訪れたのですか。 <p>◇京都でインバウンドの人たちに何をたずね、どんな答えが返ってくるかを予想させる。また、その答えが呉市の発展にどうつながるかを考えさせる。</p>	○呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学べばよいかを、「歴史・建物」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。 (ワークシート)
○本時のまとめをする。	◇修学旅行の班別自習研修時に実際に調べてみたいことや、インタビューしてみたい疑問などを記入させる。	【思考力・判断力・表現力】

まとめと振り返り

<p>生徒のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市の自慢できる歴史的建造物はあるが、京都では地域の自慢できる歴史的建造物をどのようにアピールしているのかを調べたい。 ・観光客を呼ぶために（金閣寺）の周りにはどのような工夫があるのか調べたい。 ・京都で実際に観光客に話を聞いて、自分たちの予想があっているか確かめたい。 ・観光客が多く利用している交通手段について調べたい。
--

3 振り返り（10分）

○本時の授業を振り返る。	<p>◇本時の授業を振り返り、分かったこと・考えたことを記入させる。</p> <p>◆本時の発表で分かったことを記入させる。</p>	
--------------	--	--

（3）本時の資質・能力ルーブリック

【思考力・判断力・表現力】	A	呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学べばよいかを、「歴史・建物」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深め、本時の振り返りでさらなる提案を書くことができる。
	B	呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学べばよいかを、「歴史・建物」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。
	C	京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学べばよいかを、「歴史・建物」の観点から考えようとしたが、京都で実際に調べる内容については深めることができない。

本時の学習（3組）

（1）本時の目標

- 呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「食文化・土産」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深める。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆は「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て）	評価規準 （評価方法）
1 本時のめあての確認（5分）		
<p>○前時の振り返りを行う。</p> <p>○本時の課題を確認する。</p>	<p style="background-color: black; color: white; padding: 5px;">導入の工夫</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">前時に行った各班の発表を踏まえて、どのようにすれば呉市の課題を解決に導けるかを考えさせる。</p>	
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">めあて</p> <p style="text-align: center;">京都からどんなところを学ばよいかを「食文化・土産」の観点から考えるには、どのような調査をするとよいか。</p>		
2 課題の解決（35分）		
<p>○前回の各班の発表に対する質問や意見を交流する。</p> <p>○呉と京都の違いを考えさせる。 個人思考</p> <p>○各班で意見交換する。 集団思考</p> <p>○各班の発表を参考にしながら京都に人が多く訪れる理由を考える。</p> <p>○実際に京都で調べてみたいことやインタビューしてみたいことを考える。</p>	<p>◇「呉には京都のような○○がない。」のような思考にならないように、京都を手本とすることを説明する。</p> <p>◇「食文化・土産など」のカテゴリーで、呉市なら何ができるだろうという視点で考えさせる。</p> <p>◇班ごとに質問・意見の時間をとって回答させる。</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">学び合い</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">呉市の良いところと京都に学ぶべきことを整理・分析することができる。</p>	<p>・</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 生 </div> <p style="font-size: 24px; font-weight: bold; text-align: center;">生徒の気づき</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">【予想される生徒の気づき・反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呉市にも「海軍カレー」や「鳳梨饅頭」などの土産があるが全国的に有名ではない。一方、京都には「八つ橋」や「抹茶」などの全国的に有名な土産がたくさんある。 ・ 京都は食文化以外にも歴史的建造物や日本文化を観光するために多くの人を訪れる。そのため、土産が購入される量も多い。それを誰かにあげることでさらに京都に観光したい人が増えているのではないか。 		

<p>○自らの考えを発表する。</p> <p>○本時のまとめをする。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都では何をお土産で購入されましたか。 ・京都で食べてみたい物は何ですか。 ・京都で食べたものは何ですか。 ・(土産販売店で) 一番売れている物は何ですか。 ・各班で調べたもの(宇治茶・茶菓子・お守り・豆腐・八ッ橋・漬物)に関する店を訪れて、作り方・歴史を聴く。 </div> <p>◇京都でインバウンドの人たちに何をたずね、どんな答えが返ってくるかを予想させる。また、その答えが呉市の発展にどうつながるかを考えさせる。</p> <p>◇修学旅行の班別自主研修時に実際に調べてみたいことや、インタビューしてみたい疑問などを記入させる。</p>	<p>○呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「食文化・土産」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。 (ワークシート)</p> <p>【思考力 ・判断力・表現力】</p>
--	---	--

まとめと振り返り

<p>生徒のまとめ例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京都の食べ物がどれくらいおいしいのか確かめたい。(体験してみたい。食べてみたい。) ・呉市の自慢できるものがあるが、京都では地域の自慢できるものをどのようにアピールしているのかを調べたい。 ・京都で実際に観光客やお店の人に話を聞いて、自分たちの予想があっているか確かめたい。
-----------------------	--

3 振り返り (10分)

<p>○本時の授業を振り返る</p>	<p>◇本時の授業を振り返り、分かったこと・考えたことを記入させる。</p> <p>◆本時の発表で分かったことを記入させる。</p>	
--------------------	--	--

(3) 本時の資質・能力ルーブリック

<p>【思考力・判断力・表現力】</p>	<p>A</p>	<p>呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「食文化・土産」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深め、本時の振り返りでさらなる提案を書くことができる。</p>
	<p>B</p>	<p>呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「食文化・土産」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深めることができる。</p>
	<p>C</p>	<p>京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを「食文化・土産」の観点から考えようとしたが、京都で実際に調べる内容については深めることができない。</p>

本時の学習（４組）

（１）本時の目標

- 呉市を魅力ある街にするため、京都の魅力について共有し、京都からどんなところを学ばよいかを、「文化・芸術・伝統産業」の観点から考え、京都で実際に調べる内容について深める。

（２）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆は「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て）	評価規準 （評価方法）
1. 本時のめあての確認（5分）		
<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りを行う。 ○本時の課題を確認する。 	<p style="text-align: center;">導入の工夫</p> <p>前時に行った各班の発表を踏まえて、どのようにすれば呉市の課題を解決に導けるかを考えさせる。</p>	
<p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">京都からどんなところを学ばよいかを「文化・芸術・伝統産業」の観点から考えるには、どのような調査をするとよいか。</p>		
2. 課題の解決（35分）		
<ul style="list-style-type: none"> ○前回の各班の発表に対する質問や意見を交流する。 ○呉と京都の違いを考えさせる。 個人思考 ○各班で意見交換する。 集団思考 ○各班の発表を参考にしながら京都に人が多く訪れる理由を考える。 ○実際に京都で調べてみたいことやインタビューしてみたいことを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「呉には京都のような○○がない。」のような思考にならないように、京都を手本とすることを説明する。 ◇「文化・芸術・伝統産業など」のカテゴリーで、呉市なら何ができるだろうという視点で考えさせる。 ◇班ごとに質問・意見の時間をとって回答させる。 <p style="text-align: center;">学び合い</p> <p>呉市の良いところと京都に学ぶべきことを整理・分析することができる。</p>	
<div style="float: right; border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; color: blue; font-weight: bold;">生徒の気づき</div> <p>【予想される生徒の気づき・反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市にも「呉信用金庫ホール」があるが、京都にはおおきなイベントホールがたくさんあり興行が行われている。 ・京都には大学がたくさんあり、全国から若者が集まってくる。 ・着物文化が根付いており、着物産業が発展している。 ・呉市には「呉といえば・・・」という産業がない。 		

